

事業実績報告書

様式2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-50	講座名	りす山の自然学校
記載日		団体名・企業名	守山リス研究会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

東谷山に棲息する野生のニホンリス・ムササビを含めた哺乳類の調査・保全の一端に家族で触れていただく。野生ニホンリスを捕獲観察して現場で観察を行うが、哺乳類だけに限らず、その他野生生物の痕跡観察と季節・植生に応じた生物相の観察を行う。東谷山の自然環境の理解を深めるとともに、非日常の中での冒険心と安全確保の基本を養う。昨年好評だった自宅の周囲で観察を行う際の方法や心構えなどに加え、耳を使った自然の観察のトレーニングを行う。今回からはリスが捕獲できない事態に備え、水生生物の調査もカリキュラムに追加した、調査参加者全員が生き物に触れることが出来ていた。



※写真1の説明

6/4捕獲したリスを観察、特徴を言葉にしてもらいます。

※写真2の説明

9/3 ガサガサ中、採ったあとの原状回復についての指導も行います。

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

地権者と話し合いを重ね、入山人数の抑制と集合場所の変更をしながら安全面に配慮して実施をしています。解説担当の分担や役割の再配置を通して、毎回の内容が繰り返しにならないようにしています。本物の自然に触れる環境の提供することを目的としてましたがリスの捕獲が困難なことが続いた用を感じています。…代替プログラムのガサガサは好評でしたが、自宅の周りで見る事が出来るもしくは自分で観察をしたいという声に継続的に応えることができたと感じています。高齢者の方の参加の場合について、安全面での工夫及び開催告知の方法をかんげなくてはいけないと感じております。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)